

# SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・  
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

**NPO法人 地域福祉サポートちた**

## も く じ

- 協議体運営は、円卓会議手法が効く！ 1P
- 行政職員NPO短期派遣研修……………2P-3P
- 居住支援学習会……………2P
- ベティ基金 交流会……………3P
- 武豊町職員研修……………2P
- リレーインタビュー……………3P
- NPO運営アシスト派遣事業……………2p
- インフォメーション……………4P

## 協議体運営は、円卓会議手法が効く！

新年あけましておめでとうございます。昨年中も皆さまには、大変お世話になりありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

さて、昨年は国の「全世代全対象型地域包括支援体制」の掛け声に呼応した二つの地域福祉学会からお声がけいただき、ちた型地域包括ケア＝0～100歳の地域包括ケアのまちづくりの実践についてお話しさせていただきました。



地元のコミュニティカフェ×就労支援×ソーシャルビジネスの事例も報告された、北海道地域福祉学会

11月12日には、北海道地域福祉学会(北星学園大・札幌)で、12月19日には地域福祉実践研究フォーラム愛知大会(日本福祉大学東海キャンパス)で、いずれも多職種連携や住民主体の地

域づくりを進めるための「地域円卓会議」の実践とその成果についてお伝えしています。

愛知県の協働推進施策「協働ロードマップ」(H21)から、多様な主体連携の取り組みを開発する「地域円卓会議」(H25)へのプロセスを経て、生活支援体制整備事業における各層協議体運営にこの手法が効くことがわかってきました。

5、6月には、南知多町地域包括支援センターが企画運営する2自治体の地域円卓会議に伴走、一昨年から取り組みを併せるとすでに4自治体で2層協議体を実施されています。包括職員の綿密な企画、地区のデータ見える化、ロールプレイ、二重円卓、行政・社協との役割分担等、白熱した円卓会議を展開していました。円卓メンバーに地域活動団体を加

えた自治体では、「自治体カレンダー」作成へと地域資源の見える化の取り組みが始まっています。

また、豊田市から受託した「協議体運営能力向上研修」では、モデル協議体の4回目は該当自治体主催、おたすけ隊発足へと、住民主体の取り組み実践が始まりました。

いずれも、包括が各自治体と日常的なコミュニケーションを重ね、地域の思いを受け止めながら、最適メンバーを選定し、慎重に会議をデザイン、進行していった成果です。

12月14日に取りまとめられた「地域における住民主体の課題解決力強化・相談支援体制の在り方に関する検討会(地域力強化検討会・原田正樹教授座長)でも、「圏域担当の専門職と住民側の担い手がユニットになってはじめて(総合相談が)機能する」「すでにあるものを住民とともに顕在化・意識化していく作業をまず行い、それでもないものはつくる」「協働の中核を担う機能が必要である」と各委員が述べています。

いよいよ各市町の間支援機能を発揮すべき時期が来ました。本法人でご支援できることがあれば、是非ご相談ください。協議体運営はもとより、関係機関のネットワーク化、地域資源開発、組織化、法人化等、ご相談に応じます。

本年も、0～100歳の地域包括ケアのまちづくりに向け邁進いたしますので、ご一緒にお進みいただきますよう、お願ひ申し上げます。(岡本一美)



2回の包括主催協議体→知多への現場見学→自治体主催協議体へと進化した、豊田市モデル協議体

## ■居住支援学習会



株式会社レリック神野氏、知多地域成年後見センター富松氏、阪井氏、知多地域障害者生活支援センターらいふ三宅氏、半田市地域福祉課渡辺氏が登壇（写真左から）

11月10日知多市市民活動センターにて、登壇者含め関係者70人が参加した。

今回は、次世代リーダー育成を目的に(N)知多地域成年後見センターと一緒に企画を進め、地域包括ケアシステムの核

である住まいをテーマに、岡山市で社会的弱者への入居支援を先駆的に活動する阪井ひとみさん（阪井土地開発株式会社 代表取締役）を迎えた。公的扶助申請に欠かせない「住まい」を守りたいが故に劣悪な民間物件に我慢する人、また知的・精神障害者、DV被害者等について公営住宅の単身入居者資格の緩和を国は推進している等の現状を共有した。

第2部は、住まいに関する知多地域の事例として、家財整理、成年後見、障害者の地域移行、地域生活支援拠点等整備について4人のパネリストより情報提供いただいた。各テーマごとにグループに分かれて意見交換した。

総括として阪井さんより「当事者の立場に立った支援であり、1対1ではなく人間関係を広げるために多数の知り合いや支援者をつなげる必要がある」と訴えた。（市野）

## ■武豊町職員研修

協働のまちづくりをテーマに入庁2年目職員12人を対象に11月15日行った。午前はNPOの基礎知識と知多地域の特性を聴講後、武豊町内にあるNPO4団体を見学し、理念やその背景にある社会課題や変わりつつあるニーズを共有した。



協働運営の町民会館の説明を受け、合唱コンクールで利用した中学の頃の思い出を語り合う職員ら

また(N)ゆめじろうの提案型協働事業「きのこプロジェクト」の担当課職員も同席し、協働の成果について共有した。

振り返りより、住民と行政の両方の目線を併せ持ちたい、つながりが大事だと実感した、いろいろな人と「協働」していることが分かった等の理解とともに、まちづくりの関わってきた先人への感謝へとつながった。（市野）

## ■NPO運営アシスト派遣事業

愛知県委託NPO社会人ボランティア（プロボノ）普及啓発事業が12月キックオフとなった。

プロボノとは職業上の知識やスキルを活かした社会貢献活動で、NPOの運営基盤を高めることを目的に、会員4団体へ1チーム3、4名を6日間派遣する。事前研修としてプロボノ対象にオリエンテーション、NPO現場見学を行い、各自が団体の概要と課題を聞いた上で、できることを確認した。

17日のマッチング交流会は、課題をもとに組んだチームと団体でさらに課題の絞り込みを行



マッチング交流会の様子

い、最終ゴールとどのような手順で進めていくかを協議した。昼食は～手作りカフェ～Ada-coda～の食事を楽しみ、和やかに歓談した。2月中旬まで各チーム活動を行い、2月25日リフレクション交流会を行う予定。（竹内）

## ■行政職員NPO短期派遣研修

7月～12月に、愛知県採用2年目12人、大府市2人を受け入れた。感想（抜粋）は、以下の通り。

- ・行政には、貴団体をはじめ県民の皆様方の御意見、御要望にしっかりと耳を傾けることが求められていると改めて認識した。
- ・NPO法人の繋がりの強さ、NPOで働く人々の地域をより良くしていきたいという熱い想いを感ずることができた。
- ・研修1日目「困ったときはおたがいさまだけど、まずはお互いを知らない何もしない」といった言葉があり、とても印象的だった。
- ・絶えず何が必要であるのか、何をすべきなのかを考え、挑戦していくことが重要だと感じた。

- ・「いくつもの部署で同じ説明をしなければならぬ」という具体的な形で指摘されたため、自分が感じている以上に、改善しなければならぬ。
- ・“人材”ではなく“人財”という考え方が浸透して働く人を大切に考えている。今後の業務をする参考にしていきたいと思った。
- ・放課後余暇支援で過ごす子どもたちは笑顔で生き生きとしており、子どもの成長を家庭や学校だけでなく地域でも見守っているんだと感じた。
- ・行政の役割は、県民のより良い生活・暮らしの実現にある。地域に寄り添い、地域住民やNPOと一緒に取り組むことが大切と実感した。
- ・「できるかできないかではなく、やるかやらないか」という言葉に物事の考え方が一変した。今後、失敗を恐れることなく、成功へのプロセスと捉え、何事にも挑戦していこうと思う。
- ・信念、行動力、バイタリティ、各NPOとのネットワーク、人との繋がり等の要素があつてこそ福祉の向上が少しずつ進んで行くと感じた。行政職として部署は違っても、人のために何かをするという共通点を改めて認識することが出来た。
- ・社会福祉を中心とした分野で、営利最優先の民間企業ではカバーできない領域を担っている、社会にとって必要不可欠な存在であると感じた。
- ・互いに違いがあることを認識しながら相互理解し信頼関係を築くこと、補助金等の金銭的支援のみではなく人とのつながりを大切にする、失敗を恐れずに物事に取り組むことの重要性を感じた。
- ・助け合いの精神、人とのつながることの大切さ、思いやりのころころなど、どれも行政側としてはもちろん、人としても大事にしなければいけないと改めて感じる事ができた。
- ・支援者によって、持っているノウハウや設備が異なり、行政においても包括的な支援を行うことが重要だと思う。
- ・とくに社会福祉法人むそうでは障害がありながらも健常者と同じくらい懸命に働いている方たちを見て感動した。
- ・NPOは自分たちの地域課題を人任せにするのではなく、自分たちの課題としてとらえ、解決に向かって動いていく姿勢には心を打たれた。
- ・行政は、お金だけでなく環境整備や仕事の提供など最善の方法を選択するためには、横のつながりは強力な武器になると思う。

## ■ベティ基金 交流会

12月11日ベティさんの家太田川にて交流会を開催し、助成金受領8団体から19人、株式会社R & Tカンパニーの関係者3人が集った。



普段の活動の成果を披露する助成金受領団体

第1部は、助成金で購入したスクリーンを使用し、知多半島の映像に合わせた秋の歌詞を流しながら、施設入居者と歌い共に楽しんだ。

第2部では、基金へのお礼をはじめ、活動紹介や今後の展開等について話し合った。自分が必要と感じ活動を継続していく事で、社会に認知されていくが、そのためには「仲間が大切」ということを共有した。この縁をきっかけに、連携・ネットワークの必要性を伝える良い機会となった。(江端)

## ふくし職員リレーインタビュー

東浦町社会福祉協議会 東浦町高齢者相談支援センター 管理者 高見靖雄さん

2025年問題について、「団塊ジュニアを支える世代の支援として、安心して産み育てられる環境づくりを町全体で共有することであり、今から大人が真剣に取り組む必要がある」という。



虐待対策を高齢者虐待防止法施行前の2005年から見守り支援ネットワークづくりを進め、2011年からは介護予防に力を入れ、日常生活の困りごとを丸ごと引き受ける総合相談につながっている。来年度は、生活支援コーディネーター兼コミュニティソーシャルワーカーを2名配置予定で、要援護者と地域双方のアセスメントを行うことで地域の居場所と自宅での時間を組み合わせ、2023年までに小学校区ごとの見守り体制を完備したいと考える。

高校2年の夏休みに自転車で単独、内助の功で知られる山内一豊の妻ゆかりの地、土佐（高知県）へ。大学卒業後の2年間はアルバイトしながら松竹大船撮影所の養成校に通いつつ、チャップリンの足跡をたどるためスイスも旅した。忠義を尽くす三国志の諸葛孔明のような軍師にあこがれ、様々な経験を生かしながら「豊かな幸せある暮らし」を目指している。(市野)



# サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

## ■助成金情報

### ◎CO・OP共済 地域ささえあい助成

(応募期間)2017年2月11日～3月5日(当日消印有効)  
(申請書)[http://coopkyosai.coop/about/csr/Socialwelfare/pdf/2017\\_01.pdf](http://coopkyosai.coop/about/csr/Socialwelfare/pdf/2017_01.pdf) からダウンロード  
(問合せ)日本コープ共済生活協同組合連合会 渉外・広報部  
地域ささえあい助成事務局 ☎03-6836-1320

### ◎第18回 社会貢献基金助成

(募集期間)2016年10月1日～2017年2月末日(必着)  
(申請書)<http://www.zengokyo.or.jp> からダウンロード  
(問合せ)一般財団法人冠婚葬祭文化振興財団 社会貢献基金助成 運営事務局 ☎03-3596-0061

### ■「ミエルカ」2016 助成先が志を語るドネーションパーティー

あいちコミュニティ財団事業指定プログラム「ミエルカ」2016採択4事業の100日間にわたる寄付募集がスタート。みんなで寄付を集める機会「ドネーションパーティー」で各助成先の代表者が語る、地域や社会の課題とその解決策、解決に挑まなければならない志を一緒に応援しよう！  
(日時)2017年1月15日(日) 14:00～16:30(13:30受付)  
(参加費)2,000円/定員60人(先着順)  
(会場)名城大学 社会連携ゾーンshake ナゴヤドーム前キャンパス 西館2階  
(申込問合せ)(公財)あいちコミュニティ財団(担当:今福、佐藤、山田)☎052-936-5101(N)中部リサイクル運動市民の会内

### ■療育セラピストbasic養成講座 受講生募集

(内容)児童発達障がい専門職育成を目的に、講義+演習+実習形式で特性や応用行動分析学の知識・技術を学ぶ  
(募集対象)学びを共有したい方であれば経験・資格は不問  
但し、支援者・障がい児の保護者は要相談  
(料金)35,000円 /定員10人  
(日時)2017年1月26日、2月9日、2月23日、3月9日、3月23日(隔週木曜日) 10時～12時  
(会場)クラシティ半田3階 市民活動ルーム  
(申込)氏名、所属、連絡先をEmail: [office@paka-paka.net](mailto:office@paka-paka.net)  
(問合せ)(N)Paka Paka ☎0569-77-0492

### ■第9回 介護職員初任者研修(通信)受講生募集

(日程)2017年1月26日(木)開講式、3月10日(金)～16日(木)のうち平日1日施設実習、3月17日(金)修了式  
(会場)認定 NPO 法人ネットワーク大府 研修室  
(受講料)58,320円(税込/テキスト代含む)  
(募集)2017年1月5日(水)受付開始/定員20人  
(申込問合せ)(認N)ネットワーク大府 ☎0562-44-3735

### ■介護職のための極上うるおいタイム

(内容)頑張ってる介護職を対象に、プロによるアロマトリートメントと天然素材のリップづくりで心と体を癒して元気充電！  
(日時)2017年2月19日(日) 10:00～②11:00～ 各60分  
(会場)瑞光の里緑が丘 地域交流スペース  
(費用)1,500円(リップクリーム、ハーブティ付)/定員各回6人  
(申込問合せ)(N)ぱれっと <https://coubic.com/palette8010>

### ■第15回 福祉たすけあいフォーラム

(内容)介護保険制度改正の理解促進、必要な支援が必要な人に届く仕組みづくりを考え、NPOの役割・位置づけを考える教育活動として認知症理解授業プログラム実践報告も行う  
(日時)2017年3月4日(土) 10:30～16:00  
(会場)あいち福祉医療専門学校 2号館講堂  
(講師)三浦明(厚労省老健局)、原田正樹(日福大教授)  
(問合せ)(N)あいち福祉ネット ☎052-979-6446

### ■スタッフ募集

#### ①訪問介護ヘルパー

(内容)高齢者、障がい者の身体介護、生活援助、移動支援  
(資格)運転免許、ホームヘルパー2級(初任者研修修了)以上

#### ②たすけあいヘルパー

(内容)掃除、洗濯、食事作り、買い物、病院への送迎や付き添い、お弁当配達  
(資格)資格不問(病院送迎とお弁当配達のみ運転免許)

#### ③サービス提供責任者

(内容)介護保険利用者のサービスのコーディネート  
(資格)運転免許、介護福祉士  
(問合せ)(N)ゆいの会 ☎0562-32-5906

## NPO現場見学バスツアー参加者募集！

### 第143弾 空き家対策と農福連携

日時:2017年2月21日(火)

9時半～16時

見学先:知多地域成年後見センター、  
南粕谷ハウス、びすた～り  
(参加費)5,200円(昼食代別途)

(担当:安藤)



特定非営利活動法人

地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1  
知多市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631  
Fax 0562 (33) 1743